

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Albirex-RT

CAR No.34

2015/9/7

CAR No.35

MOTOR FREAK

スーパーFJ 東北シリーズ 第3戦

Beyond

中村 凌

小松 俊太

アルビモーターフリース ED

アルビビヨンド GIAED

CAR No.36

CAR No.37

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

MAKE WINNER

長谷川 綾哉

加藤 泰賀

アルビ新潟第一ホテル玉三郎 ED

アルビメイクウィナーミネテック ED

9月6日(日) 予選・決勝 スポーツランド菅生 1LAP=3.704km

予選結果：長谷川選手 2位 小松選手 4位 中村選手 5位 加藤選手計測できず

決勝結果：加藤選手優勝 長谷川選手 3位表彰台 小松選手 5位 中村選手 6位

**加藤選手優勝、長谷川選手3位で
アルビレックスRTが1・3フィニッシュ達成！！
加藤選手はシリーズチャンピオンに王手！！**



■9月6日（日） 8時55分予選スタート

天候：曇り コース：ウェット 気温：20℃ 湿度：78% 路温：21℃

天候は曇りながらも、朝の雨がまだ残っている路面状況で予選開始。
コースイン1周目の3コーナー、タイヤが温まっていない為かシリーズランキングポイントリーダーの加藤選手がスピンを喫してしまう。スピン後、コースに復帰する際にやや焦ってしまった加藤選手はトランスミッションを痛めてしまいピットイン。そのまま計測できずに予選はリタイアとなる。

予選トップ争いは長谷川選手と関西より遠征の上村選手とでお互いにタイムを更新し合い、激しいポールの取り合いとなるが、最終的に上村選手がポールポジション獲得。長谷川選手は計測残り1周となる8周目にベストを出すも0.6秒届かず予選2位となった。

■9月6日（日） 11時53分決勝スタート

天候：曇り コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：74% 路温：29℃

シグナルブラックアウトでレーススタート。最後尾の加藤選手が好スタートを決め、1コーナー進入までに中村凌選手をパス、4コーナーで小松選手をインからかわし4番手に浮上する。加藤選手は前を走る豊島選手に引っかかる形で2周目へ入るが、ホームストレートで豊島選手の後ろでスリップストリームに入り、2周目の1コーナー進入でインを取り3番手に浮上する。

一方、先頭集団は上村選手、長谷川選手の上位2台が少し抜け出す格好に。後続との差を徐々に広げていく。

4周目、トップ上村選手との差を詰めてきた長谷川選手がホームストレートでスリップに入り1コーナーでイン側からオーバーテイク、トップに浮上する。しかし、バックストレッチで後ろにピッタリつかれると、馬の背コーナー進入のブレーキングでインを取られ2番手に後退してしまうが、すぐさま5周目ホームストレートで再びスリップに入り、今度はアウト側からオーバーテイク、再びトップに立つ。

迎えた8周目、上村選手と長谷川選手にジャンプスタートによるドライブスルーペナルティの裁定が下され、9周目に2台そろってピットロードへ。その間に加藤選手が難なくトップに浮上する。

ドライブスルーペナルティを消化した2選手は3番手に浮上していた小松選手の後ろでコースに復帰。小松選手、長谷川選手、上村選手の三つ巴のバトルになるが、3位争いは小松選手をパスした長谷川選手と上村選手のバトルに。

レースはファイナルラップへ。10秒以上差をつけていた加藤選手がそのままチェッカー。豊島選手が2位につける。一方、3位争いで上村選手に先行を許していた長谷川選手だったが、最終コーナーからホームストレート立ち上がりで上村選手の真後ろにピッタリつけ

スリップに入ると、車速を伸ばして最後は車を右に振ってゴールラインへ。2 台が並んでゴールラインを通過するも、わずか 0.097 秒長谷川選手が上回り、見事逆転 3 位でチェッカーを受けた。

小松選手は 3 周目、一時 4 番手に後退した豊島選手のスリップに入り、1 コーナー進入でイン側にポジションを取り見事パス。3 番手となる力走を見せたが、翌周にパスした豊島選手に逆転され 4 番手に後退。長谷川選手、上村選手のペナルティに伴い一時は 3 位を走るも、最終的には 5 位でフィニッシュ。中村凌選手が 6 位で続いた。

今回の結果により加藤選手は最終戦でリタイヤしない限りシリーズチャンピオンとなる。

○中村選手コメント

まだまだ 1 周の速さが足りていません。周りと比べてラップタイムがまだまだなので、もっと練習してバトルができるよう頑張ります。

○小松選手コメント

今回のレースでは上位陣とバトルができました。もっと技術を磨いて、簡単にはかわされないように、少しでも上の順位でチェッカーを受けられるように努力していきます。

○長谷川選手コメント

スタート直前、グリッドで車が動いてしまい、それがレースの敗因となってしまいました。途中までは 1 位だったのもったいないことをしてしまいましたが、今回は F4 に出ている上村選手と争うことができ勉強になることがたくさんありました。次戦に活かしたいと思います。

○加藤選手コメント

今回は自分のミスにより予選を失敗してしまいましたが、結果的に表彰台の真ん中に立てて、シリーズチャンピオン獲得に大きく前進できて良かったです。ランキングではかなり優位な位置にいますが、最後まで気を緩めずに最終戦も勝ってタイトルを決めたいです。

○中村監督コメント

中村凌選手はダートラ出身なだけにまだダートラの癖が出ているので、これが改善されればフォーミュラでも十二分に適応できると思います。

小松選手は非常に最近伸びているドライバーの一人です。車の動かし方を会得してきた模様です。十二分に速さも確認できるようになってきたので、強さも身に付けていけば上位で争うことができると思います。

長谷川選手は若さが出てしまいました。速さはあるだけに冷静さを備えれば今回のようなミスはなくなると思います。まだ次戦チャンピオン争いがありますのであきらめないでほしいです。

加藤選手は予選の焦りがマシン破損につながってしまいました。しかし、速さも見せ精神的に強くなったので決勝ではその精神的な強さをいかに発揮してくれました。チャンピオンに一番近い位置にいますので最終戦しっかり走ってほしいです。

総じて東北シリーズはチームとしては年間のチャンピオンをほぼ手中に収めました。今後とも応援の程宜しくお願い致します。





P PLUS



Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tkcncf.com/sds>



Moty's

新潟日報

たわら屋

AUTO SYSTEM

SPN
SPEED PARK NIIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体